

日本で初めて、心臓疾患の患者数が明らかになりました

－2012 年(2013 年度実施・公表)循環器疾患診療実態調査事業－

一般社団法人日本循環器学会

代表理事 永井良三

学術委員会委員長 小室一成

ワーキンググループ主査 小川久雄

ワーキンググループ 安田 聡

我が国の循環器疾患診療の動向を把握することは、今後の診療体制のあり方を考える上で重要な課題です。日本循環器学会学術委員会では、2004 年から循環器疾患診療実態調査を開始しました。全ての専門医研修施設・研修関連施設からデータを収集することで、本邦循環器疾患の実地診療に関する精度の高い実態把握が可能となりました。

2012 年調査では、急性心筋梗塞患者数：69,219 例、急性心筋梗塞入院中死亡数：5,564 例、心不全入院患者数：212,739 例、心不全入院中死亡数：17,663 例、急性心不全入院患者数：85,502 例、慢性心不全入院患者数：88,177 例、その他の調査結果につきましては次のホームページにて公開しております。（ホームページ：<http://jroadinfo.ncvc.go.jp/>）

諸外国のデータベースを参照しても、国内のほぼ全ての心筋梗塞発生数、冠動脈ステント留置術等の件数を把握しているデータベースは例がなく、非常に高い精度のデータ収集と言えます。過去 7 年の推移においては、診断では冠動脈 CT 実施件数、心エコー件数、治療では薬物溶出性ステント (DES) 件数、心臓手術件数 (off pump-CABG、弁膜症手術等) は何れも増加傾向を示しています。一方、金属製ステント (BMS) 件数の減少傾向など、比較的短期間に診療実態が変化している事がわかります。

本調査は、我が国の循環器医療の必要性（需要）と供給の両面から疾病・診療実態を把握することが可能であります。我が国の循環器診療の質の向上・発展のために、日本循環器学会学術委員会では本調査を継続しデータを還元して参ります。

記

調査対象期間：2012 年 1 月 1 日～2012 年 12 月 31 日の診療実態調査 (2012 年調査)

対象施設：循環器科・心臓血管外科を標榜する 2577 施設

回答状況：1,612 施設からの回答（循環器専門医研修施設・研修関連施設の回答率 100%）

※第 78 回学術集会会期中に循環器疾患診療実態調査ブース展示を実施いたします。

日時：2014 年 3 月 21 日（金）～3 月 23 日（日）

会場：東京国際フォーラム 地下 2 階 日本循環器学会循環器広報ブース

データについての問合せ先：国立循環器病研究センター循環器疾患診療実態調査事務局
06-6833-5012（内線：8356）



一般社団法人 日本循環器学会

〒100-0011 東京都千代田区内幸町 1-1-1 帝国ホテルタワー18F

Phone: 03-5501-0861

E-mail: webmaster@j-circ.or.jp Website: <http://www.j-circ.or.jp/>